

市議会だより



2025年8月1日発行
発行 仙北市議会
編集 仙北市議会・
広報編集
特別委員会

第4回定例会、議員賛否	P2	市民福祉常任委員会	P9
一般会計補正予算	P3	産業建設常任委員会	P10
一般質問	P4～7	新規採用職員 議会傍聴の感想	P11
総務文教常任委員会	P8	議員活動紹介・議員表彰 ・編集後記	P12

■佐藤祐次さん(角館白岩)撮影「白岩のささら」

—第4回(6月)定例会—

議員定数16から15に削減! 来年4月の改選から適用!!

令和7年 第4回定例会が6月6日から6月27日まで22日間の会期で開催され、報告関係9件、専決処分関係3件、条例関係5件、令和7年度一般会計補正予算などの予算関係4件、その他8件、議員提出議案1件の計30件が審議され、角館上野庁舎へのエレベーター設置や議員定数1減など、すべての議案が可決されました。

議員提出議案第4号 市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例制定について

最終日に「議員提出議案第4号」として、議員定数を定める条例の改正案が提出され、来年4月12日投開票の市議会議員選挙から、議員定数を1減の15にすることが可決されました。

田口市長 10月市長選への出馬を正式表明

本定例会の一般質問で10/19投開票の仙北市長選挙に再選を目指して立候補することを正式に表明しました。

須田教育長 給与の10分の1を自主返納

教育行政報告で、昨年9月に続き今年4月も学校給食へのガラス片混入事案を重く感じ、給与の10分の1を1ヶ月分自主返納すると表明しました。

インターナショナルスクール誘致事業の進捗状況

白岩仮校舎の開校時期延期

- ①旧白岩小学校中庭に寄宿舎の建設を予定していた
- ②移転時に解体するより、空き家の活用に変更した
- ③空き家を改修した寄宿舎の準備が整い次第、白岩仮校舎の開校時期をお知らせする

田沢湖本校舎予定地情報

- ①田沢湖ハートハープ第二駐車場の埋蔵文化財試掘調査が8月に終了予定(ハートハープは営業を終了する)
- ②貴重な文化財が出なければ、9月から田沢湖ハートハープの改修工事の現地調査を開始する

財産の取得(すべて全会一致で可決)

※価格は税込価格

議案第66号: 公用車 電気自動車(5台)

車種 2.0ℓ PHEV車 4ドア以上 5人乗り
購入価格 19,417,802円(1台388万円)
購入業者 (株)田沢モータース(仙北市田沢湖)
配備先 田沢湖庁舎2台/角館庁舎3台

議案第67号: 小型消防ポンプ付積載車(5台)

メーカー ダイハツ ハイゼット(軽四輪駆動)
購入価格 35,200,000円(1台880万円)
購入業者 (株)高義商会(湯沢市川連町)
配備先 第2・第3分団(各1台) 第5分団(2台)

議案第79号: 除雪ドーザ 11 t級(2台)

仕様 2人乗りサイドスライドアングリングプラウ(ピン式)
購入価格 41,800,000円(1台2,090万円)
購入業者 奥羽車輛(株)(仙北市角館町)
配備先 田沢湖地区/角館地区

議案第80号: ロータリ除雪車 1.5 m級(1台)

仕様 2人乗り 除雪幅1.8m
購入価格 37,754,200円
購入業者 奥羽車輛(株)(仙北市角館町)
配備先 主に角館地区で使用

議決結果/議員賛否

令和7年 第4回 仙北市議会定例会(招集日:6月6日 最終日:6月27日)

凡例: 賛→賛成 反→反対 退→退席 欠→欠席(議長は法律に定める特定のケース以外では表決をしないことになっています)

議案番号	件 名	会派及び氏名	議決月日	議決結果	蒼生会					せん新成 ぼく			共産党	公明党	無会派				
					小林幸悦	真崎寿浩	高橋輝彦	武藤義彦	門脇晃幸	青柳宗五郎	小田島広仁	中村和彦			西宮三春	平岡裕子	熊谷一夫	高久昭二	荒木田俊一
議案第64号	令和7年度仙北市一般会計補正予算（第2号）		6/6	可決	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛	反	賛	反	反	反	賛
議案第71号	令和7年度仙北市一般会計補正予算（第3号）		6/27	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	反	賛
議案第77号	工事請負変更契約の締結について		6/27	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	反	反	賛
議員提出 議案第 4 号	仙北市議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例制定について		6/27	可決	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛	反	反	賛	賛

※全会一致で可決された議案については議員賛否を掲載しておりません。

令和7年度 一般会計補正額3億2,335万円を可決 累計242億7,837万1千円に

角館上野庁舎のエレベーター設置決定！ 工事費補正予算可決

■令和7年度 一般会計補正予算(第2号・第3号・第4号)の主な事業

庁舎整備事業費	5,679万円	角館上野庁舎のエレベーター設置工事費（返済額の7割を国が負担する合併特例債を活用）
温泉施設物価高騰対策支援事業費	1,000万円	花葉館、クリオンへの燃料費の補助（国の交付金を活用）
墓地公園管理運営費	52万円	生保内柏山墓地公園のU字溝とL型擁壁の改修工事費
介護保険施設及び障害者支援施設等物価高騰対策事業費	515万円	物価高騰による食材費等の補助（国・県の交付金を活用）
給食材料費	814万円	物価高騰による給食材料費の値上げ分（小・中学生の値上げ分は市が負担する）

令和6年度一般会計補正予算関連の主な質疑

◆角館上野庁舎のエレベーター設置について（賛成8、反対7で可決される）

賛成討論 仙北市は高齢化率45%であり、高齢者や身体の不自由な方々の現状や市の将来を考えると設置するしかない。本定例会で可決しなければ、非常に有利な財源である合併特例債が活用できなくなる。最後のチャンスである。

反対討論 計画時の総事業費に収めるという市民説明会での市民との約束があったではないか。エレベーター設置の必要性は認めるが、市の説明や検討が不足している。

◆温泉施設物価高騰対策支援事業費について

質問 花葉館とクリオンの灯油等の燃料費の補助との説明だが、内訳とその根拠について伺う。

答弁 花葉館が上限400万円、クリオンが上限600万円の補助である。根拠については、令和4年度の実績により補助金額を決定した。クリオンはプール利用の実績も加味した。

◆介護保険施設及び障害者支援施設等物価高騰対策事業費について

質問 介護施設と障害者支援施設への食材費等の補助とのことだが内訳はどうなっているのか。

答弁 障害者支援施設は4事業者あり、入所系が7施設（定員57人）で一人3,300円、通所系が4施設（定員80人）で一人1,650円の補助である。介護保険施設は20事業者あり、入所系が29施設（定員880人）で一人5,000円、通所系が14施設（定員263人）で一人1,650円の補助である。

議案第65号 旧角館総合病院解体工事 請負変更契約の締結 【全会一致で可決】

◆解体工事内容精査による工事費減額の変更契約

変更仮契約日 令和7年5月23日
既契約金額 794,750千円(税込価格)
内容精査による減額 △59,354千円(税込価格)
変更後の契約金額 735,396千円(税込価格)
主な変更工事内容 埋戻し材の変更、建物基礎再利用、浄化槽基礎再利用、車庫棟再利用など

議案第77号 角館上野庁舎改修工事請負 変更契約の締結 【賛成12、反対3で可決】

◆エレベーター設備追加及び関連電気設備追加による工事費変更のための変更契約

変更仮契約日 令和7年6月18日
既契約金額 893,200千円(税込価格)
変更契約の増額 56,765千円(税込価格)
変更後の契約金額 949,965千円(税込価格)
変更工事内容 エレベーター設備追加、電気設備追加

議案第78号 令和7年度 道路メンテナンス事業 橋梁補修工事（内川橋・第3期）請負契約の締結

◆内川橋の歩道の補修工事（橋長155.5m 橋梁補修工1式） 【全会一致で可決】

業者名 「角館・相馬・瀧神特定建設工事共同企業体」代表者 角館建設工業株式会社
契約金額 205,601千円(税込価格)
工期 令和8年2月26日
工事概要 舗装打換え工239㎡、伸縮継手工9m、橋梁用防護柵工315m、橋梁塗装工820㎡



蒼生会
武藤 義彦 議員

市長選出馬に向けた決意は

質問 田口市長の任期中の自己評価と、市長選出馬に向けた決意を伺う。

答弁 私のすべての評価は、市民意識調査の幸福度の向上にある。幸福度は若干向上しており、市政への取り組みが少しずつ結実してきていると思う。ただ、仙北市には多くの課題が山積しており、様々な取り組みが必要である。仙北市民の幸福度をより一層向上させていくために、今後も市長として幸福度全国一に向けて進んでいきたい。

内陸線松葉駅の現状について

質問 松葉駅には連日多くの観光バスが停車しているが、駅前が狭いため、国道で切り替えしている状況である。事故防止のためにも、駅前にスペースを確保する等の対応策が必要ではないか。

また、駅前駐車場の舗装を早急に修繕するべきではないか。

答弁 令和6年度の松葉駅での団体バス利用状況は、約1,450

台である。令和5年度には、市が

駐車場に隣接する土地を取得し、拡幅を検討したが、緊縮財政の中で断念した経緯がある。他の安全確保に向けた手法も含め、内陸線や沿線事業者等との検討が必要と考えている。駅前駐車場の状況は把握しているが、内陸線の所有管理であるため、会社と協議したい。



■多くのバスが停車する松葉駅

【その他の質問】

◆子どもの安全確保について

◆高収益農業について



新成せんぼく
中村 和彦 議員

これからの観光行政について

質問 桜祭り後の観光客の減少を防ぐための、誘客について伺う。

答弁 グリーンシーズンの魅力発信について、ドラゴンアイなど周遊意欲をかきたてる期間限定のスポットについて、SNSや多言語対応サイト等で誘客宣伝に努める。

質問 宿泊税の進捗状況について伺う。

答弁 宿泊税に対する理解が十分浸透していない。何に使うのか等、事業者の皆様には伝える事が重要であり、説明会などを定期的に開催し、一日も早い宿泊税導入に向け、今後も進めて参りたい。

質問 新たな観光地として、大覚野牧場を小岩井農場並みとは言わないが、整備をして西木地区の活性化と人口減少対策を行ってはどうか。

答弁 観光資源としての活用による経済効果や地域活性化への一定の評価は考えられるが、現状では、現実的ではないと判断している。畜産を含む農業の情報を収集し、

地域課題の改善に努めたい。

質問 抱返り溪谷への観光客誘客についてどのような戦略が必要か伺う。

答弁 東北屈指の景勝地としてのブランドを確立し、SNSやPR動画などメディアを活用し、国内外に広く発信していき、より多様な観光客の誘致とリピーター創出に努めていく。

交通の利便性について

質問 秋田新幹線こまちの始発・最終の停車を、要望してはどうか。

答弁 毎年、改善要望を行っている。JRでは、最短で秋田―東京間を結ぶ事を目的としており、難しい状況であるが、繰り返し要望していきたい。



■長期間閉鎖されていた回顧の滝方面への遊歩道が7/9から開通した抱返り溪谷



澤田 雅亮 議員

市民福祉部関連について

質問 育児休暇中の保育園へ預ける時間を伸ばせないか。

答弁 家庭の都合などにより個別の対応もしているので、御利用の園に相談して頂きたい。

質問 長期休み中の児童クラブの弁当提供について。

答弁 長期休み中の児童クラブの弁当のニーズは把握している。しかし、放課後児童クラブは定員を遥かに超える対応をしているため、弁当の提供に係る業務が困難な状況である。

質問 放課後児童クラブにおける学力向上の施策をどのように考えているか。

答弁 現在の児童クラブは定員を超える状況にあり、学力向上を目指す取組みの素案や施策は、現状難しいと考える。

質問 様々なスキルを持った仙北市の人材がチャレンジしやすい環境を作るために、放課後児童クラブの学習力アップに取り組んではどうか。

答弁 放課後児童クラブは学習の

場ではないことから、実施は困難と考える。

桜、新緑の観光シーズンについて

質問 今年の花見シーズンの観光客数の推移と一人当たりの消費単価は。

答弁 令和7年は81万7,000人、市内における観光単価は把握できていない。

質問 桜の時期の出店の位置を分かりやすくするための看板、案内等を設置できないか。

答弁 7月に予定している実行委員会との協議を行う際に、意見・要望を聞き、今後に繋げたい。

質問 新緑シーズンの観光客を増やすための目標や考えをどのように持っているか。

答弁 集客目標等は設定していないが、四季の魅力を発信していくことが重要であると考えている。

【その他の質問】

◆よりチャレンジしやすい環境整備に向けた市長の来期の心構えは。



日本共産党
平岡 裕子 議員

緊急事の一斉伝達方策は

質問 4月1日から、防災行政無線での音声伝達が無くなり、慣れ親しんだ朝・昼・夕方の時刻を知らせるチャイムも無くなった。せめて昼だけでも、何かしらの音が欲しいという市民の願いをどう受け止め、緊急時の一斉伝達はどのように行うのか伺う。

答弁 屋外のスピーカーを用いた防災行政無線は聞こえにくい、街中ではうるさいなどの意見があったほか、システムの老朽化が著しく、多額の管理費用がかかる課題があつて、現在の「@（アット）せんぼく」に切り替えた。それにより、チャイムを廃止することになった。緊急時には、ライン通知、戸別受信機からのお知らせ、テレビのLアラート、市のライン、安心安全メールに登録されていない方にも、緊急速報メールで、仙北市内にある各社携帯端末に一斉お知らせをする。ご理解とご協力を。
答弁（田口危機管理監）各携帯の緊急速報メールに、間髪を入れずにアラームが鳴るようになってい

る。市の消防車両はサイレンを鳴らして走行できる機能を持っているので、消防団に一斉伝達をして一斉に運用できるようにしたい。

質問 一斉伝達のために、各出張所にサイレン発信できる設備をすべきではないか。

答弁 出張所単位でのサイレン設置の提案をしつかり検討させていただきたい。



■音声は途絶えたがそのまま設置されている防災行政無線

【その他の質問】

◆インターナショナルスクール誘致事業について

◆高齢者補聴器購入助成制度について

◆こども誰でも通園制度について



高久 昭二 議員

文化遺跡を活用した地域発展施策について

質問 田沢湖、神代、黒倉遺跡の出土品等を展示できる特設コーナーを黒倉抱返り会館に併設し、国内外の観光客への紹介や、学校の教材として生かしたらどうか。

答弁 黒倉遺跡は2回の発掘調査を行い、県の監修を得て田沢湖駅2階の「森と遺跡の展示室」で公開し、多くの観光客や市民に紹介している。学校の教材は県の文化財保護室が「秋田の縄文」という小冊子にて黒倉遺跡の出土品等を紹介している。

住民サービス向上による幸福度を高める施策について

質問

①小・中学校の給食の無償化の実現

②市道の補修、側溝改良、排水路の整備

③物価高騰対策として再度「商品券」を給付

答弁 ①給食の食材費高騰により、小学

生月額42円、中学生44円を市が負担している。完全無償化については市の財政負担が大きいので、国や県からの財政支援を強く求めている。

②交通量の多い路線や劣化度などを勘案し計画的に改修等を進めている。突発的に発生した緊急性の高い修繕については補正予算対応も考えている。

③8月末を期限とした、市民税課税世帯への一人4千円の商品券を発行している。再度の給付は、現在考えていない。

田沢湖黒沢工業団地の活用について

質問 黒沢工業団地はレタス水耕栽培も断念し、雑草が伸び放題である。首都圏の誘致に拘らず、近隣の木材工場やパルプ製造、野菜やイチゴ栽培、ドローン関連会社などの活用はどうか。

答弁 製造業にとっては、土地が狭く誘致が難しい。農業や介護施設も選択肢としてはいいが、地元企業の雇用に影響を与えない形で、働く人も連れてくるような企業が望ましいと考えている。



新成せんぼく
小田島広仁 議員

安全・安心な観光地を目指して

質問 廃業、休業している観光施設が増えている。今年の雪で崩壊した施設もあり、見た目も勿論だが、危険な状況であり、歩行者や近隣に生まれている方々も不安で仕方がないと思われるが、市としての対応等について伺う。

答弁 現地調査で周辺への影響を確認し、空き家等の適正管理等に基づき、所有者、管理者の確認を行っている。

所有者が判明した場合、傷み具合や周辺への影響等を記したお知らせ文書を送り、事態が改善しない場合は条例に基づき助言、指導と段階を上げながら解体を含めた適切な管理をするよう促している。

今後は緊急措置の実施要件や代執行手続の見直し、法定協議会設置の検討、所有者が行う空き家の適切な管理を促すための支援策等、抜本的な対応が必要との認識の下に、条例改正等も含めた検討を行う。



■雪で崩壊した宿泊施設

安全・安心な暮らしのために

質問 市民の安全を守り、安心に暮らすためには消防団の充実、団員の方々の頑張りが必要である。団員数の現状、長時間の出動に対して、加算金を検討しないのか伺う。

答弁 6月1日現在、消防団員数407名、充足率64・6%、全体数630名に対し223名が不足している。

長時間出動の加算金については、美郷町、大仙市との2市1町での連携が不可欠なので、確認をしながら、今後、実現できるか検討していきたい。

その他の質問

◆安全・安心な観光地を目指して（カラ吹き2号源泉）

◆安定した温泉事業を目指して



蒼生会
高橋 輝彦 議員

人口減少対策としての「角館高校魅力化」の取り組みを

質問 新規事業である仙北市と角館高校が共同で県外生徒の入学受入れを推進する「地域みらい留学推進事業」を人口減少対策の一環として、市が主体的に取り組むべきだ。

答弁 仙台圏、首都圏からの留学生を受け入れ、本人の将来の移住や家族の2地域居住などを目指している。令和8年度3名、令和9年度5名、令和10年度7名の受入れを目標としている。

質問 高校生に仙北市の観光資源等を活用した人口減少対策を考えるカリキュラムや、志願者数増加に向けてスポーツ部、文化部共に全国大会の常連校にするための関係団体による「角館高校魅力化」プロジェクトチームを結成してはどうか。

答弁 「地域みらい留学」をきっかけに、さらに仙北市への愛着が沸くプログラムの構築や、これまでの枠組みを超えた、市民も一緒になっての角館高校の魅力アップ

に有効な方策を検討したい。

インターナショナルスクール誘致事業はどうなる？

質問 白岩校の開校延期や本校舎の予定地など、まだ流動的な部分が多いのではないかな。

答弁 白岩校は中庭に建設予定だった寄宿舎を止め、空き家を活用するため開校が延期される。本校舎予定地の田沢湖ハートハーブは8月に埋蔵文化財調査が終了し、貴重な文化財が出なければ、改修工事の準備を始める。



■埋蔵文化財調査中のハートハーブ第2駐車場奥の杉林

質問 白岩校の寄宿舎にする空き家の土地、建物を購入するのとことだが、日本の観光地の外国資本による土地の取得が増加している現状を考慮した対応も必要ではないか。

答弁 この事業に関する連携協定に沿った形での不動産取得である。しつかり情報交換し不安を抱くことがないよう進める。



蒼生会
真崎 寿浩 議員

非常時の情報伝達方法について（防災行政無線）

質問 3月末で屋外スピーカーによる情報伝達は廃止となり、4月から新システム「@（アット）せんぼく」に移行したが、廃止後の影響について、住民から苦情や意見要望等はないのか。新システム運用での戸別受信機の貸与は順調に行われているのか。

答弁 屋外スピーカーから流れていた時報が無くなり寂しいとの意見等は出されている。廃止せざるを得なかった事情を説明している。戸別受信機の貸与は、介護施設や公共施設も含め、5月末現在で284台貸与している。当初は同居している家族のどなたもスマホ等を持たない世帯限定としていたが、6月広報に申込みチラシを全戸に折込み、貸与条件を緩和して追加募集を行っている。今後とも状況を見ながら貸与条件を検討し、多くの世帯に貸与していきたい。

質問 非常時・緊急時の情報伝達方法として、他の手法による伝達

方法を検討する必要があるのか。

答弁 緊急時の伝達方法について、新年度から、防災行政無線を全て廃止してスマートフォンを活用したシステムに移行した。全てスマートフォンでの発信や戸別受信機だけでいいのかと思うところがある。今後、既存の施設・設備の活用や出張所単位でのスピーカー等を活用しての緊急時のサイレン等による伝達等、市民に情報を届けるような方策はないか検討していきたい。



■3月末で廃止された防災行政無線

【その他の質問】

- ◆市道における交通弱者への安心安全の確保について
- ・ガードレールの設置状況は万全か
- ・道路区画線は安全がしっかりと確保されているのか

総務文教常任委員会

小学5年生・6年生&中学生の わらび座ミュージカル観劇料116万円計上

6月定例会の総務文教常任委員会では、田沢財産区特別会計補正予算、白岩辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更についてと令和7年度一般会計補正予算などが審査されました。

令和7年度 総務部・企画部・教育委員会関係の一般会計補正予算（第3号）主な内容

総合行政情報システム管理費	9,026万円	全国の自治体システムの標準化に伴う改修等
児童・生徒観劇事業費	116万円	わらび座ミュージカル「秋田は何もない」観劇料
小学校・中学校の一般管理費	429万円	給食の安全な提供のため学校給食支援員を配置する経費（角館小、生保内小、角館中）
学校給食費	814万円	給食材料費（牛乳、米等）高騰による給食費値上げ分の経費
文学顕彰碑設置事業費	121万円	仙北市にゆかりのある作家を顕彰する文学碑（河正雄氏寄贈）

総務文教常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆総合行政情報システム管理費

質問 今回整備をするが、何年かに一度また更新となるのか。システムが使える期間はどれくらいになるのか。

答弁 今回のシステム標準化については、国から令和7年度末までに全国の自治体で対応するように求められているものである。仕様が変われば対応しなければならないが、多くは国からの財源措置があると見込まれる。利用料の負担は各自治体となるが、財源措置を含めた国の動向を注視していく。

◆児童生徒観劇事業費について

質問 観劇人数、チケット代金、バス等運行費はどうなっているのか。

答弁 5・6年生272名、中学生480名、教員107名で計859名となっている。チケット代は割引料金となっている。運行費については、基本的にわらび座のバスで送迎するので無料である。

◆学校管理費（一般管理費）委託料について

質問 職員室に給食支援員は必要か。また、どの程度の時間を予定しているのか。

答弁 給食の安全な提供のため、校長をはじめ、ほとんどの職員が給食の盛付けなどの見守りを強化しており、その間、職員室には電話番しかいない。安全安心に万全を尽す為にも、今回補正をお願いするものである。また時間は、職員室での給食の準備・片付け、電話対応等で2時間程を予定している。

主な議案説明

◆田沢財産区特別会計補正予算（第1号）

当局 歳入は田沢財産区内の茶たての清水農村公園にある東屋の修繕費に対しての繰入金である。歳出には同額を一般会計繰出し金に計上している。

◆白岩辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

当局 3月をもって閉校した白岩小学校校舎を、放課後児童クラブを含めて地域コミュニティセンターに用途変更するための改修経費を、補助率2分の1の新しい地方経済生活環境創生交付金を活用する事としているが、残りの2分の1の経費に辺地債を充てるべく、白岩辺地に係る公共的施設の総合整備計画の議決を求める。

※2月議会で継続審査とした「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する請願は6月議会でも継続審査とした。

（門脇 晃幸 記）

仙北市議会だより

8

市民福祉常任委員会

角館総合病院の病床

170床から152床に削減！経営改善策を可決！

6月定例会の市民福祉常任委員会では、角館総合病院の経営改善を図るための病床数削減案や放課後児童クラブの要員増、墓地公園施設修繕費などを盛り込んだ令和7年度一般会計補正予算などが審査されました。

■令和7年度 市民福祉部関係の一般会計補正予算（第3号）主な内容

生活保護事務費	60万円	生活扶助基準変更による生活保護システム改修費
生活保護受給者向け就労支援事業費	5万円	就労支援員初任者研修会参加のための旅費
認可保育園等管理費	28万円	角館西保育園、白岩小百合保育園の誘導灯の修繕費
放課後児童対策事業費	349万円	個別支援のため、会計年度任用職員2名分の人件費等
母子保健対策費	133万円	母子保健・マイナンバー連携のシステム改修委託料
保険事業総務費	180万円	予防接種のシステム改修の委託料
仙北市民公開講座事業費	31万円	世界高血圧の日 市民公開講座開催（7/13）に伴う諸経費
西明寺診療所管理運営費	126万円	レセプトコンピュータ不要により解約のための残債
墓地公園管理運営費	52万円	生保内柏山墓地公園のU字溝等修繕の工事費

市民福祉常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆生活保護事務費について

質問 システム改修のための委託料との説明であったが、具体的にはということなのか。

答弁 生活保護システムの改修である。10月1日から生活扶助基準が変更になるため改修が必要になる。

◆生活保護受給者向け就労支援事業費について

質問 就労支援員初任者研修会を受講する際の旅費とのことだが、研修会の内容はどのようなものなのか。また、生活保護を受給されている方の人数、就労支援の対象になつての方の人数、年齢層はどうなっているか。

答弁 本研修は、厚生労働省が主催するもので、秋田県の枠が3名から4名あり、当市から1名参加する。就労支援が初めての方々を対象にしており、就労支援の基本的プロセス、施策の活用方法、日々の実践を振り返りながら、他の受講者と一緒に就労支援を学び、自分自身の価値観、就労支援員としての倫理観を身につけることが目的である。生活保護を受給されている方は令和6年度末時点で259世帯327人、就労支援の対象は高校生をのぞき、15歳から64歳までの方で、40代が5人、50代が4人、60代が4人、合計13人である。

◆放課後児童クラブ放課後児童対策事業費について

質問 個別支援等のため、職員増の要望とのことだが、詳細について伺う。

答弁 角館小学校の放課後児童クラブの利用者が増え、教室を一つ増やした。各教室に職員を2名配置しなければならないことや、個別に対応が必要な児童もいることから、会計年度任用職員を2名雇用することとしたい。

◆議案第70号 仙北市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について

質問 角館総合病院の病床が170床から152床へ減少することにより、患者さんや職員に影響はないのか。

答弁 病棟の再編により、数名の入院患者の方には病室の移動をお願いするが、それ以外の影響はない。職員への影響もなく、夜間勤務の負担軽減に繋がると考えている。

（小田島 広仁 記）

産業建設常任委員会

人と地域を創生する観光誘客事業費 1,305万円を計上

6月定例会の産業建設常任委員会では、内閣府に3ヵ年計画で申請し採択となった「地方経済生活環境創生交付金事業」の人と地域を創生する観光誘客事業費等が審査されました。

令和7年度 観光文化スポーツ部・農林商工部・建設部関係の 一般会計補正予算(第3号)の主な内容

機構集積支援事業費	22万円	農地パトロール時のレンタカー借り上げ料等
農地利用効率化等支援交付金	769万円	国要望調査により増額配分を受けた補助金
未来へつなぐ 元気な農山村創造事業費補助金	60万円	地域農業と障がい者の農福連携支援
人と地域を創生する観光誘客事業費	1,305万円	海外誘客事業、おもてなし向上事業等の委託料

産業建設常任委員会・予算常任委員会分科会での主な質疑

◆機構集積支援事業費について

質問 農地パトロールはどのように実施しているのか。

答弁 1台の車に農業委員・推進委員と事務局という班編成で各地区をパトロールし、そのパトロール中でも現場で状況を聞く等して適切なアドバイスを行っている。

◆未来へつなぐ元気な農山村創造事業費について

質問 事業の内容と効果は。

答弁 6次産業化や障がい者の訓練の場所創出、収入向上、様々な活動を通して障がい者に対する理解啓発に繋げる事業である。このような連携が農業を含む幅広い分野で取り組まれていくことが共生社会の実現と考え、後押ししていく支援である。

◆人と地域を創生する観光誘客事業費について

質問 羽田空港での産直館PR事業では仙北市の工芸品等も出店するのか。

答弁 仙北市の周知を図ることが事業の目的であり、工芸品等については他自治体の事例も参考にしながら、仙北市ならではの情報発信に努めたい。

質問 観光客の受け入れ体制の改善点を、市内民間業者と共有するとしているが市のサポートは。

答弁 報告会のほか、ソフト面としてスキルアップセミナーを開催しフォローアップを図る。

質問 台湾高雄マラソン時の市長トップセールスの随行人数は。

答弁 台湾トップセールス、温泉まつり、観光フェアの随行で延べ8人、高雄マラソンはランナーも含め5人である。

質問 TANBUN（たんぶん）※・リトリート推進事業でタイにターゲットを絞った理由は。また、昨年度仙北市に宿泊したタイ人の人数は。

答弁 昨年度まで置いていた現地事務所の提案と、台湾とタイが県の重点ターゲットとなっているためである。昨年度仙北市内に宿泊したタイ人の人数は1,649人である。

（武藤 義彦 記）

用語
解説

・TANBUN（たんぶん）…タイ人が好むタイ人にとって「徳を積む」という意味

仙北市新規採用職員 議会傍聴の感想をいただきました

国保市民課 細川 優香

今回の議会を傍聴し、一つ一つの市での取り組みやその成果などについて質問や答弁を行っている場を見て、仙北市の魅力向上のために様々な議論が行われていることを実感した。

また、それぞれの質問に対し、その内容に対する調査が行われており、割合やお金などの数字の調査だけではなく、市民の声も調査し、答弁の中に入っていたことから市民の声に耳を傾け、仙北市の幸福度をあげるように力を入れていると改めて実感できた。

文化財課 友永 柊

議会では「財政」「予算」というワードが複数回挙がり、新たな施策や事業には財源確保が必要不可欠であると再認識した。しかし、財源確保が終着点ではなく、現状把握と事前調査に基づく計画を策定することで優先順位を付け、継続的な効果を見込む施策が求められていると強く感じた。

また、仙北市は多くの資源を有するからこそ抱える課題も多いという所感を持った。私も市職員として多角的な視点から考察する力を強化したいと思う。

観光課 内藤 稜太

今回の傍聴研修では、質問と答弁の流れや議会中の緊張感を体感でき良い経験になった。

議員の質問からは、市民の生活や悩みを良くするという想いがあること、質問に対する答弁からは市の政策の方針や意図を感じることができた。また、仙北市には多くの課題がある反面、多くの可能性を秘めていることを再認識することができた。

仙北市で働く一人の職員としての自覚と責任を持ち、一つ一つの課題に対して真摯に向き合っていきたい。

総務課 横田 湊太

仙北市議会の傍聴を通して、市民生活を支える多くの取り組みや課題に対し、真剣な議論が交わされていることを実感しました。テレビや資料で見るとは異なり、現場の空気を感じることで、職員としての責任の重大さを感じました。特に子育て世代への支援に関する議論が印象に残り、市職員として住民に寄り添う視点の大切さを学ぶ貴重な機会となりました。議会傍聴は仙北市を深く知ることができる貴重な機会だということもわかり、これからも続けていきたいと思っています。

税務課 伊藤 ハルカ

初めて市議会定例会を傍聴したが、仙北市の現状と課題、具体策を活発に議論していて、とても興味深い議会だった。今回の議会でもさまざまな問題が挙がったが、原因として財政的な問題と人員不足が大きく関係していると感じた。

その中で特に印象に残ったのは、児童クラブでの学力向上についてだ。親として市民としての視点を交えた質問であり、子供たちのためにより良い環境を作りたいという思いが伝わってきた。

身近な問題も多く取り上げられていて、自分が仙北市のために何ができるか考えさせられた。これから仙北市のために自分ができる業務を日々精進していきたい。

包括支援センター 小松田 美咲

今回の議会傍聴研修を通して、仙北市民の安全・安心な暮らしを支えるために市議会議員の方々の意見・要望を真摯に受け止め、より質の高い市政に活かしているのだと感じた。議会において、限られた財源の中でリスクアセスメントや費用対効果等を踏まえて優先的に取り組むことは何かを検討していることを学んだ。今回の研修を受け、福祉に従事する者として市民の声に耳を傾け物事を多角的に捉えられるよう努めていきたいと感じた。

保健課 藤原 好葉

議会傍聴を通して、議員が近隣住民との出来事を交えて発言する場面が印象的であった。議会は市民を代表して住民の声を市政に反映できるため、行政と市民の関係性の重要さを実感した。

時代の流れとともに住民のニーズは変化するが、よりよい仙北市の実現のために大切な役割を果たしていると学んだ。私はこの経験から日頃から市民の声を聞き、市民の目線に立って生活を考え、安心・安全な暮らしを支えるため業務に邁進していきたい。

角館公民館 飛澤 桃子

今回、初めて実際の議会を間近で見ることができ、とても貴重な体験になりました。

特に、子どもの交通事故対策について質問された場面では、市と警察などの関係機関が連携しながら取り組んでいることが印象に残りました。小学校低学年には道路の歩き方などを教える交通安全教室を行い、中学校では自転車点検を実施するなどの交通事故対策を進めていることを知り、こうした取り組みの大切さを改めて実感しました。

仙北市議会の議員活動紹介

総務文教常任委員会視察

総務文教常任委員会では、3月25日～26日、「ハロウィンターナショナルスクール安比ジャパ

ン」へ行政視察に伺いました。
 全人教育を掲げ、国際社会に貢献する人材を多数輩出しているイギリスの名門「ハロウィンターナショナルスクール」の日本校で、2022年8月に開校し、11～18歳までの生徒約300名が全寮制で学び、学業・スポーツ・芸術・体験学習・地域との交流等、素晴らしい教育環境の下、伸び伸びと学んでいる子ども達の姿が印象的でした。
 人を育てる思いが十分に伝わり、何もかも圧倒された視察となりました。



ハロウィンターナショナルスクール安比校を視察した総務文教常任委員会のメンバー

ハロウィンターナショナルスクール安比ジャパンの紹介

- ・岩手県の安比高原に2022年8月開校
- ・英国で450年の歴史を持つ「ハロウスクール」が初めて日本に開校（全寮制）
- ・現在、27カ国から11～18歳の310人在学
- ・日本人の比率は30%程度。アジア近隣諸国の出身者が多いがイギリス、アメリカ、カナダの生徒も在籍
- ・学費は寮費や食費を含めて年間900万円前後
- ・安比高原の大自然を活用したスキー、スノーボード、ゴルフ、テニス、マウンテンバイクといった生涯スポーツをはじめ、音楽、美術、演劇などの芸術や社会貢献活動など、人生の視野を広げ、個の才能を発掘するプログラムはハロウ安比校の魅力となっている

整理整頓された
談話室



設備が整っている
スポーツ施設



本市でもインターナショナルスクールの誘致が進んでおりますが、この様な学校になって欲しいと切に感じました。
 （田口 寿宜 記）

全国市議会議長会表彰を受賞！

おめでとうございます

6月定例会の初日に、全国市議会議長会から、黒沢龍己議長（20年）と平岡裕子議員（15年）の2名が永年勤続表彰を受賞されました。



市民参加の表紙の写真第4弾

市民提供の表紙写真第4弾は、角館町白岩の佐藤 祐次さんです。自分も若いころに広久内ささらを演舞していたとのことで、現在住んでいる白岩前郷でのお盆のささらの素晴らしいさを、自分が撮影した写真で市民のみなさんに伝えたいそうです。

「写真は自信がありませんが、白岩ささらが大好きで、お盆は追っかけをやってます。420年継承してきた伝統芸能です。是非、お盆に白岩ささらを見に来てください。」

（本人談）

編集後記

散歩に出ても、人と会うことが減ったうえに、予測はしていたものの、実際に防災無線の屋外のスピーカーから流れる音も無くなり、「死のまち」になってしまったと嘆く方々に出会いました。個人への情報発信は進んでも、共有できる情報がないことは地域コミュニティを希薄にします。

今回の補正予算で、演劇「秋田には何もない」を市内小学5・6年生と中学生・教員に鑑賞事業費として予算を承認しました。鑑賞後、感想文を提出する事になるようですが、言葉にして仲間と語り合う体験もしてほしいものです。

議会の表決は、可否しかありません。僅差でも賛成が多ければ事業が進みます。市民との意見交換会を望む声もあります。要請をお待ちします。

（平岡 裕子委員長 記）